

2. 経済界へのTDMの働きかけについて

(1)取組状況と今後の取組全般について

東京都
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

交通需要マネジメント（TDM）に関わる取組について

◆これまでの取組

実施方針 （「東京2020大会の交通マネジメントに関する提言（令和元年10月）」参照）		取組（例）
(1)顧客との物流に関わる調整の促進	①サプライチェーンに連なる関係者の一体的な取組促進 ②物流効率化等の展開	●物流にかかる協力のお願い文の発出 ●物流TDMの推進（実行協議会の設立） ●円滑な港湾物流の確保に向けた東京港の取組 ●業界団体の個別訪問
(2)入念な事前準備による更なる交通量の低減	①既存施策との連携 ②企業に与える影響の見える化 ③重点取組地区での働きかけの継続	●テレワークデイズ等との連携 ●会場周辺交通対策の公表・周知 ●ORN/PRNの路面表示及び看板の設置 ●大会時の遅延等を想定した所要時間・経路探索システムの活用
(3)スムーズBiz等の取組の戦略的な推進	①企業とのコミュニケーションの充実 ②優良な取組の表彰・公表 ③中小企業や個人の行動変容に向けた働きかけの本格化	●TDM推進プロジェクトの推進（約260団体、約4,700社：令和2年2月末現在） ●企業説明会等の開催、コンサルタント派遣 ●スムーズBiz推進期間結果公表イベント（表彰） ●冬のスムーズBiz実践期間での取組
(4)その他		●公共交通の輸送力増強

◆今後の取組

- TDM総仕上げプログラム（仮称）の展開

物流TDMの推進

荷主から配送業者まで一体となったサプライチェーン全体での取組が不可欠

業界団体・大企業向け

《取組1》

農水省/経産省/国交省/組織委員会と連名で、
物流にかかる協力のお願いの文書を発出
(2019年11月15日プレス)

実績：全国の延べ500以上の団体

経済団体

- ・経団連
- ・東京商工会議所
- ・経済同友会
- ・オリパラ等経済界協議会

業界団体

- ・物流連
- ・東京都トラック協会
- ・日本倉庫協会
- ・日本鉄鋼連盟 等

《取組2》

2017年6月以降、約160回の団体向け説明会実施
2019年11月～国と共に、約40団体に個別に訪問

- ・フランチャイズチェーン協会
- ・全国鉄鋼販売業連合会
- ・日本繊維産業連盟
- ・日本雑誌協会
- ・自動車工業会
- ・全国通運連盟 等



(説明会の様子)

上記について、引き続き取組を進めていく

中小企業向け

中小企業・商店に対し、丁寧な発信をしていくため、
現場事情に精通した実務担当者で構成される協議会を
設立(2020年1月24日)

2020物流TDM実行協議会

○会長 学識経験者(流通経済大学 苦瀬教授)

※東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会交通輸送技術検討会委員

○委員

国(内閣官房、農水省、経産省、国交省、中小企業庁)
経済団体等(東京商工会議所、東京都中小企業団体中央会、
東京都商店街振興組合連合会、全日本トラック協会等)
士業団体(社労士会、中小企業診断士協会、税理士会)
東京都(オリパラ局、産労局、都整局)、組織委員会

○取組

経営者や商店主等に対し、業種業態別の実態に合った取組内容、
周知方法などを議論し、実行する。

【例】

- ・経済団体のみならず、中小企業等と顧問などで直接関わるネットワークの活用
- ・都内の商店街等を通じた周知
- ・専門家による個別相談(コンサルティング)の実施

○商店街等でのプロモーションも検討

円滑な港湾物流の確保に向けた東京港の取組

◆東京港の9つの取組

取組① コンテナターミナルのゲートオープン時間の拡大

○ 全国初の「深夜ゲートオープン」を実施

⇒7:30～翌4:00 (20.5時間) を予定 (休憩時間を含む) ※ 通常のゲートオープン時間 8:30～16:30

※コンテナターミナル毎の詳細な内容については、決定次第、東京港ポータルサイトに掲載

○ 輸出入の前倒しや後ろ倒しに対応できるよう、大会期間前後の時間拡大も実施

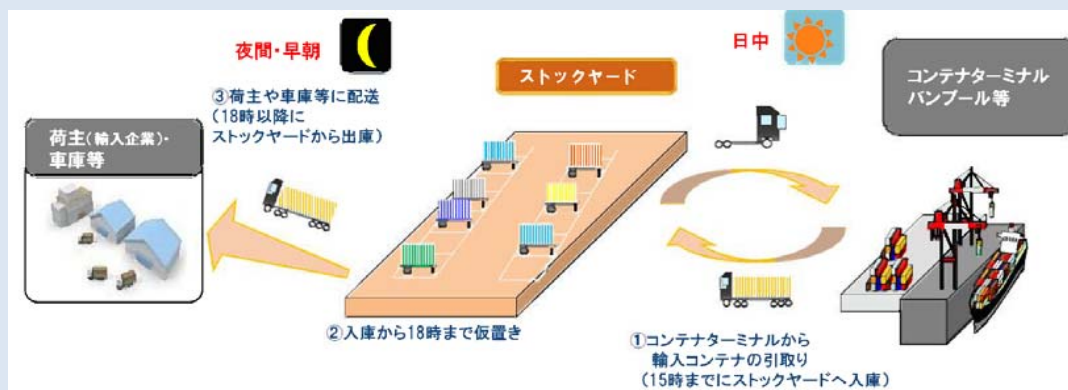
【ゲートオープン拡大の実施スケジュール (予定)】

- ・7月15日～17日 (オリンピック前) : 7:30～18:00 (受付終了)
- ・7月20日～8月7日 (オリンピック期間、直前3日間含む。土日祝除く) : 7:30～翌4:00 (一旦18:00で受付終了。以降予約制で対応予定)
- ・8月11日～14日 (オリンピック後) : 8:30～18:00 (受付終了)
- ・8月25日～9月9日 (パラリンピック期間及び大会後、土日祝除く) : 7:30～18:00 (受付終了)

取組② スtockヤードの設置

○ スtockヤード (24時間利用可能な貨物の一時保管場所) を大井、城南島、青海、中防外に約600台分設置

- ・実施期間：7月1日～9月30日
- ・利用料金：無料
- ・搬出入時間：ターミナルからの貨物搬入は15時まで。Stockヤードからの搬出は18時以降



その他の大会時の取組

- 取組③ 臨海部混雑マップの提供
- 取組④ トラックドライバー向けのWEBカメラを増設
- 取組⑤ トラックから船舶・鉄道への利用の転換支援

- 取組⑥ 長期蔵置貨物の解消
- 取組⑦ リーフアークテナの需要増への対応
- 取組⑧ 臨時貨物置場の設置
- 取組⑨ 新たなコンテナターミナル・中防外Y2の供用開始

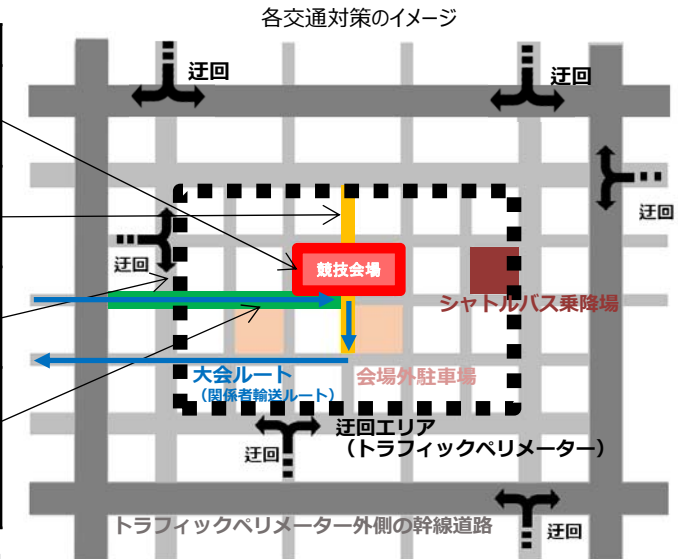
会場周辺交通対策

東京2020大会において、競技会場等周辺一般道における交通混雑を緩和するため、主に以下の交通対策を実施する予定です。

【交通対策の区分等】

区分	目的	方法	対象等
① 進入禁止エリア (セキュアペリメーター)	競技会場等の設置	会場等を囲む物理的なフェンス等を設置	大会関係者以外の車両や歩行者、自転車は通行不可
② 通行規制エリア (会場直近対策)	通過交通の規制	規制標識を設置し通過交通を制限	通過交通は通行不可※1 歩行者・自転車は原則、通行可
③ 迂回エリア※2 (トラフィックペリメーター)	通過交通の抑制	案内看板や広報等により、会場直近を通り抜けしようとする車両の迂回を促す	通過交通は迂回※1 歩行者・自転車は原則、通行可
④ 専用レーン、優先レーン (専用通行帯、優先通帯)	大会関係車両の 定時性確保	規制標識等を設置し、大会関係車両の通行帯を指定	専用レーン：大会関係車両以外通行禁止 優先レーン：大会関係車両が通行していない場合は通行可

※1 居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可。
 ※2 迂回エリア内にある時間貸駐車場約570件（約24,000台）について、予約制への参画調整を2月より実施。大会本番2週間前から予約受付開始（予定）

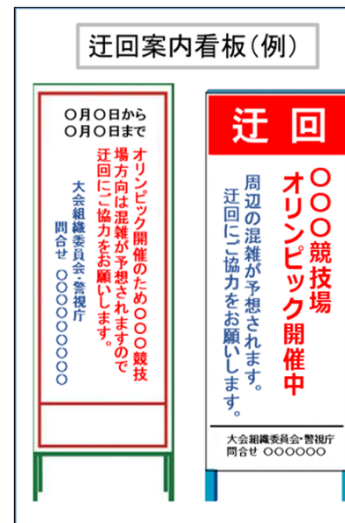


【広報案】

4月以降、順次、以下の広報を展開

- ・ 迂回案内看板の設置（右図）
- ・ 自治体広報誌への掲載
- ・ 組織委員会等HPへの掲載
- ・ 周辺住民等へのチラシ配布

など



※看板のデザインについては調整中

ORN/PRNに設置する路面表示及び看板の設置について

- ORN/PRNにおいて、大会関係車両が通行する路線であることを、道路を利用する方に周知し利用抑制や時間変更、駐車抑止等に協力いただくことを目的に、路面表示及び看板を設置

ORN・PRNに設置される路面表示及び看板のデザインイメージ

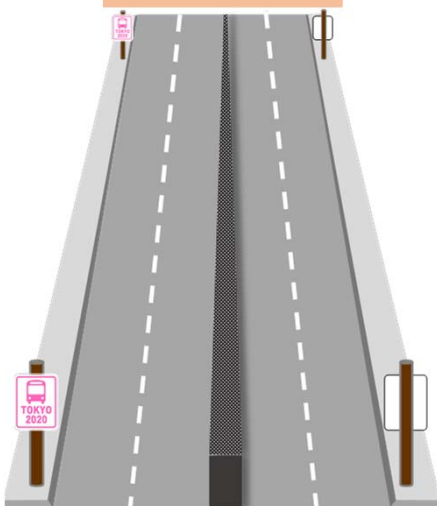
路面表示（運転者からの見え方）



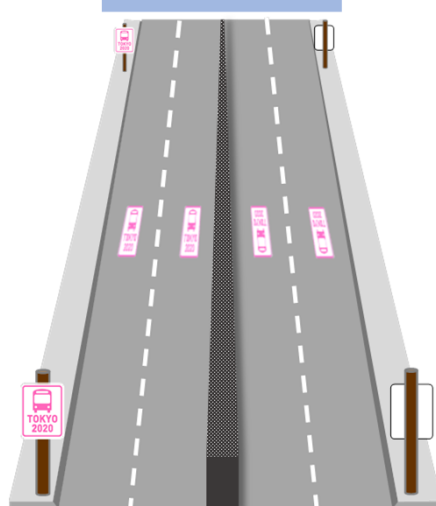
看板



高速道路



一般道



設置写真



- ※ 路面表示および看板は、ORN/PRNのうち、大会関係車両等専用レーン及び大会関係車両等優先レーンの交通規制が行われないルートに設置
- ※ 高速道路には看板のみ、一般道には看板のみ、または、路面表示と看板を交互に設置
- ※ 路面表示と看板は、交通規制を表すものではない

大会時の遅延等を想定した所要時間・経路探索システム

任意の出発地・目的地を入力することで、大会時の所要時間増や迂回ルート等を案内
(大会関係車両の通行や会場周辺の交通規制、高速道路での流入調整等を反映)

① 出発地、目的地、
時間帯を指定

② 通常時の所要時間、
大会時の所要時間
を確認

③ 前後の時間帯、
夜間の所要時間を確認

→この例では、出発時間をシフト
することで、所要時間を短縮で
きることがわかる

同じルートの時間帯別比較

● 早朝 4:00~6:00 発	27分
○ 2時間前 6:00 発	49分
⋮	
● 08:00 発	1時間10分
⋮	
○ 2時間後 10:00 発	1時間9分
○ 深夜 0:00~4:00 発	27分

※時間帯により異なる混雑予想を考慮しているため、通過する経路が異なる場合がございます。

ルートを表示

晴海トリトン

東京都庁

8時 0分

出発 到着

ORN/PRN回避 ON OFF

※ORN/PRN回避する場合は「ON」、しない場合は「OFF」に変更

高速道路 利用する 利用しない

再検索

自動車 (大会時ルート)	1時間 10分	高速利用 なし	10.3km
自動車 (通常時ルート)	26分	高速利用 あり	16.3km
電車	43分		280円 乗換0回

※算定された所要時間は、リアルタイムの交通情報に基づく所要時間ではありません。
※特異日や荒天、事故などによる所要時間の増大は考慮されていないため、提示する所要時間より時間がかかるケースもございます。

大会時ルート 通常時ルート 電車ルート

晴海トリトン

晴月橋南

交差点
清澄通り

勝どき駅前
晴海通り

東京都庁

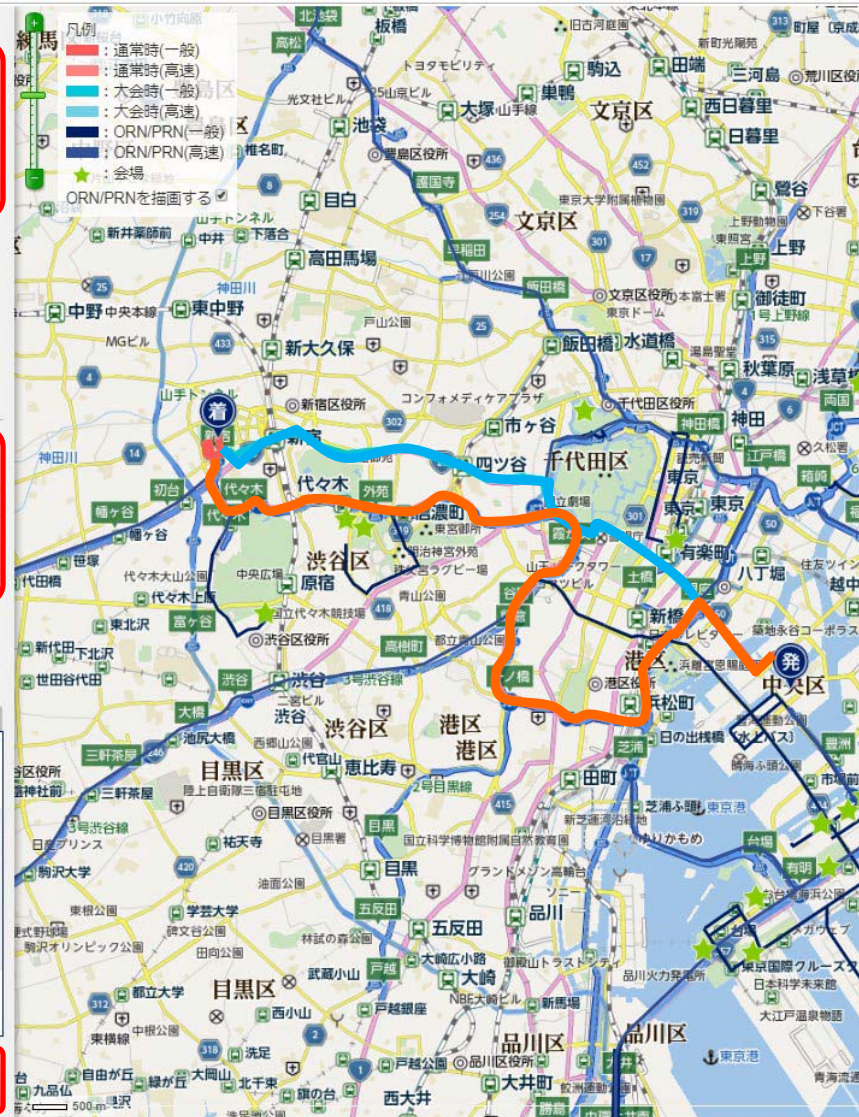
24m

470m

321m

2.0km

他の時間帯の所要時間を見る



※2020TDM推進プロジェクトの参加登録者のみ利用可能

公共交通の輸送力増強について

公表内容（2020.01.22） 抜粋

1 オリンピック期間の深夜時間帯の列車運行

- 運行期間：2020年7月24日深夜～8月9日深夜
（オリンピック開会式～閉会式の17日間）
- 延長する終電の運行範囲と発車時刻の目安など

2 パラリンピック期間の深夜時間帯の列車運行

- 開会式(8/25)と閉会式(9/6)の両日、通常の終電時刻より遅い時間帯までの列車運行を予定

3 深夜時間帯以外の時間帯における列車の増発等

競技の実施に伴い混雑が予想される会場周辺の路線等を中心に、臨時列車の運行や臨時停車、車両の増結等を検討

【臨時列車の運行等を検討している会場・エリア(路線)の例】

- オリンピックスタジアム(東京メトロ銀座線、都営大江戸線)
- 東京スタジアム・武蔵野の森スポーツプラザ(京王線) ※競技開催日
- ベイエリア各会場
(りんかい線、ゆりかもめ、JR京葉線、東京メトロ有楽町線、東京モノレール、京急本線) など

広報ポスター



*** 具体的な運行時刻等は、4月頃に公表予定**

取組趣旨

- 大会期間中の朝ピーク時間帯（8時台）の交通混雑を緩和するため、都民サービスは低下させない前提で、都庁職員によるオフピーク通勤関連の取組を実施

取組内容

（1）大会期間中は毎日オフピーク通勤を実施

○ 朝ピーク時間帯の出勤者ゼロ

- ・ 本庁・出先事業所の全職員（※1※2）が、8時から10時までの出勤を回避
⇒ 8時以前、10時以降の始業に分散
- ・ 競技会場付近の出先事業所等では、観客利用が多い時間帯も加味して出勤
- ・ 実施にあたっては朝型勤務（8時始業以前）を推奨

（2）テレワークの積極実施

○ 週2回以上のテレワーク

- ・ 本庁の全職員（※1※2※3）が、原則として週2回以上テレワークを実施

○ 1週間連続テレワーク

- ・ 本庁の全職員（※1※2※3）が、原則として大会期間中に1週間連続テレワークを実施

○ サテライトオフィスの拡大

（3）休暇取得の推奨

○ 全職員に年休や夏休の計画的かつ連続的な取得を推奨

⇒ そのうち、テレワーク・休暇取得を集中的に実施する日を設定

- ・ 特に交通混雑が想定される日やパラリンピックの開会日には、テレワークの集中実施（本庁職員）や休暇取得を推奨（※1※2※3）

（このほか、予期できない事情により通勤が困難となる状況が生じた場合には、テレワークの一斉実施を推奨）

実施時期

<大会期間> オリンピック：7/24～8/9
パラリンピック：8/25～9/6

※大会期間中以外（7/20～22、8/11～24）も取組を推奨

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23	24 開会式	25
26	27	28	29	30	31	8/1
2	3	4	5	6	7	8
9 開会式	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 開会式	26	27	28	29
30	31	9/1	2	3	4	5
6 開会式	7	8	9	10	11	12

■ オフピーク通勤 & テレワーク & 休暇取得

○ テレワーク・休暇取得の集中実施日

※1 オリパラ関連業務、交替制勤務、育児・介護等で実施困難な職員等は除く

※2 窓口業務等に従事する職員については、早出・遅出勤務の振り分け等により、体制を確保した上で実施

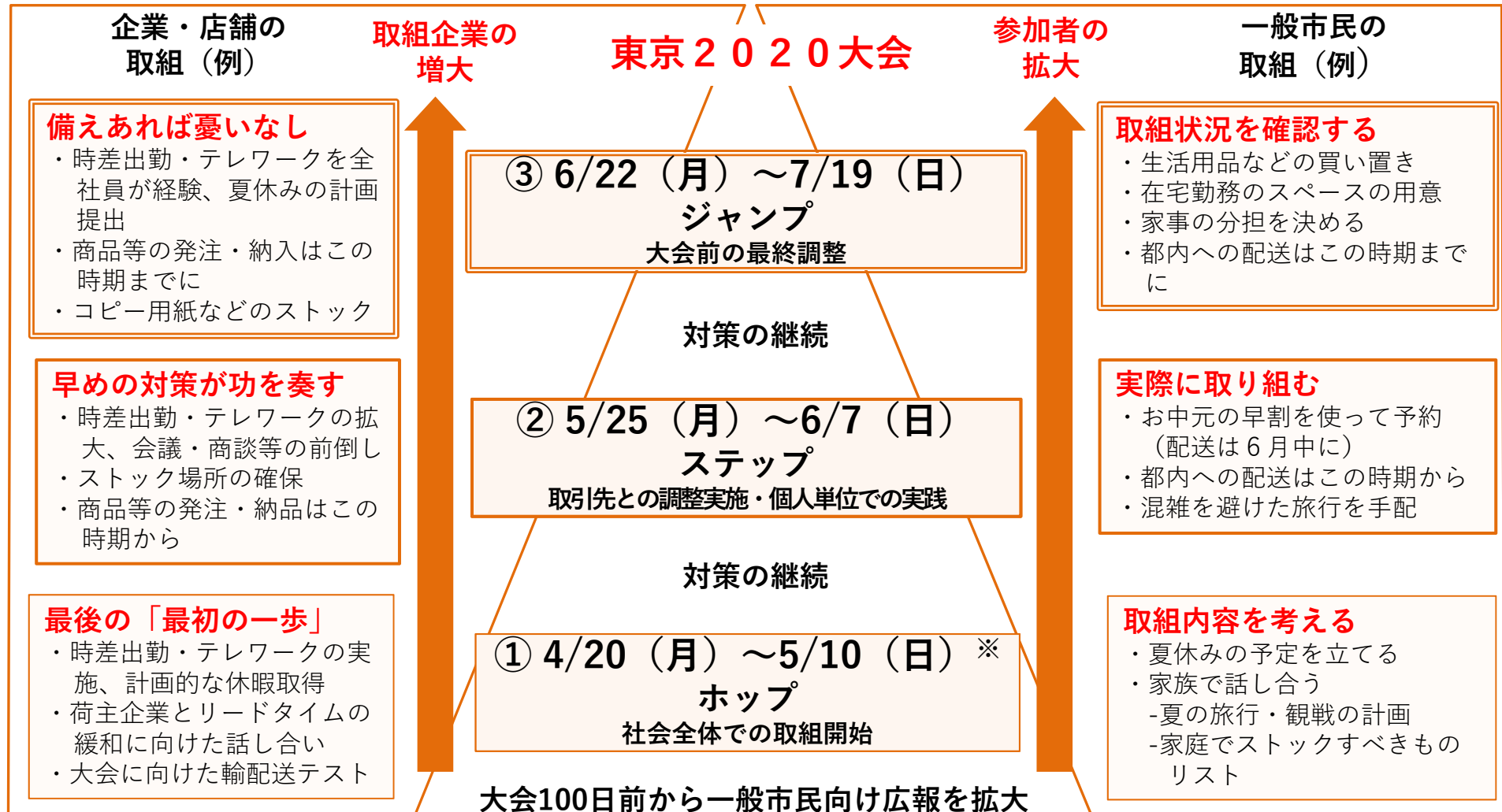
※3 職場での管理監督要員など、どうしても出勤が必要な場合を除く

TDM総仕上げプログラム（仮称）

◆ 実施目的

- ・大会に向けた**準備の総仕上げ**と**TDMの取組の気運醸成**

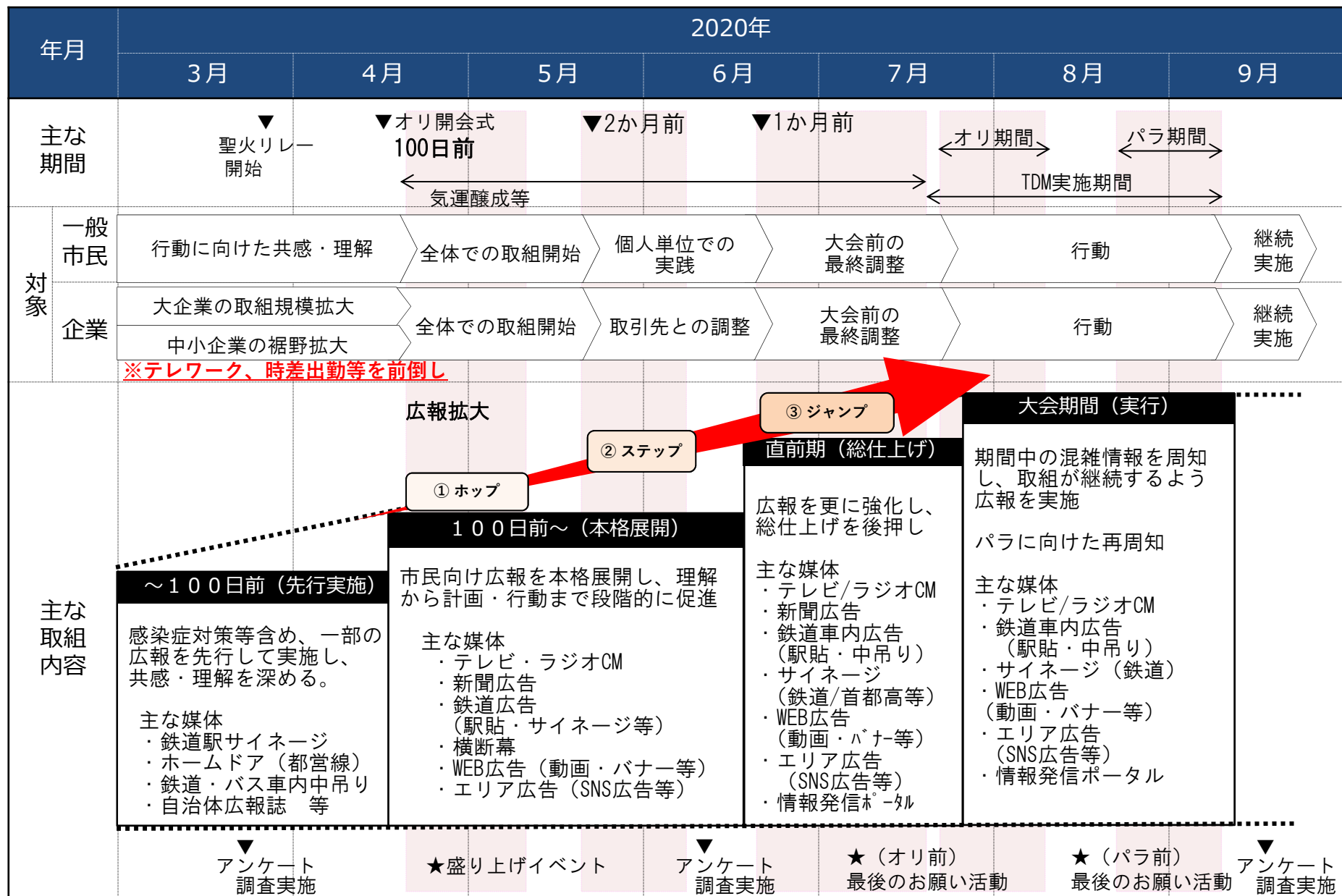
◆ 大会までのプログラム（案）



※テストイベント等に合わせて運営側でもテストを実施

TDMの広報について

- TDMの気運醸成に合わせ、広報を拡大（一般向け広報も100日前から本格的に展開）
- テレビCM等のマス広告とデジタルメディアを組み合わせ、ターゲットやエリアごとに訴求できる効果的な広報を実施



2020年のTDM実施方針（道路交通）

【実施期間】 2020年7月20日（月）～8月10日（月）（オリンピック開催期間＋開閉会式前後）

2020年8月25日（火）～9月6日（日）（パラリンピック開催期間）

※首都高料金施策の実施期間も同様

（参考）特にスムーズBizを推進する期間 7/20～9/6

日	月	火	水	木	金	土
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24 オリンピック開 会式	7/25
7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
8/9 オリンピック 閉会式	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
8/23	8/24	8/25 パラリンピック 開会式	8/26	8/27	8/28	8/29
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
9/6 パラリンピック 閉会式	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12

【呼びかけ】 オリパラ開催期間に加え、オリンピック開閉会式前後も、選手・関係者の出入国や練習会場等との往復、諸行事の開催などにより、道路交通を中心に交通量の増加が見込まれる

⇒ 円滑な大会輸送を実現するため、早朝夜間へのシフト等、特に道路交通の交通量低減の取組を呼びかけていく

【目 標】・一般交通

都心部（重点取組地区）について、大会前の交通量の30%減を目指す

東京圏の広域（圏央道の内側）について、大会前の交通量の10%減を目指す

・首都高速道路における交通量の更なる減

東京圏のオリンピック・ルート・ネットワーク(ORN)、パラリンピック・ルート・ネットワーク(PRN)の基幹をなす首都高速道路については、交通量を最大30%減とすることで、休日並みの良好な交通環境を目指す(TDM、料金施策等により実現)

2020年のTDM実施方針（公共交通）

【実施期間】 2020年7月24日（金）～8月9日（日）（オリンピック開催期間）

2020年8月25日（火）～9月6日（日）（パラリンピック開催期間）

※通勤については特に平日

（参考）特にスムーズBizを推進する期間 7/20～9/6

日	月	火	水	木	金	土
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24 オリンピック開 会式	7/25
7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
8/9 オリンピック 閉会式	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
8/23	8/24	8/25 パラリンピック 開会式	8/26	8/27	8/28	8/29
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
9/6 パラリンピック 閉会式	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12

【呼びかけ】 オリパラ開催期間中は、選手・関係者に加えて観客等の移動も発生することから、公共交通も含めて、交通量の増加が見込まれる

⇒公共交通についても、重点的に交通量低減の取組を呼びかけていく

※平日は企業活動等に伴う移動が多いため、企業等に集中的な取組を呼びかけていく（テレワーク、時差出勤、休暇取得等）

※土日・祝日は私事移動が多いため、個人の積極的な取組を呼びかけていく

※取組の目安（平日朝ピーク1時間）は、首都圏全体で1割程度の低減、重点取組地区のうち混雑の激しい駅や路線で3割程度の低減

【目標】 局所的な混雑への対応などにより、現状と同程度の安全で円滑な運行状況を目指す